

令和6年度政務活動費収支報告について

令和6年11月27日

四国中央市議会議員 山川 和孝 様

議員氏名

稲川 護

四国中央市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、別紙のとおり6年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和6年度政務活動費収支報告書

議員氏名

箱川 護

1 収入

政務活動費 160,000 円

2 支出

(単位：円)

科目	金額	備考
調査研究費	80,003 円	島根県雲南市・飯南市視察、愛媛県松山市視察費用
要請陳情活動費	0 円	
広報広聴活動費	0 円	
研修費	0 円	
資料購入費	0 円	

3 残額 79,997 円

備考 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

政務活動費返還申出書

令和6年11月27日

四国中央市長 篠原 実 様

議員氏名 篠川 護

令和6年度分として交付を受けた政務活動費について、残余金が生じたので、四国中央市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定により、次のとおり返還を申し上げます。

交付を受けた額	160,000 円
支出した額	80,003 円
返還する額	79,997 円

政務活動費出納簿（令和 6 年度）

No. 01

氏 名	猪川護
-----	-----

[illegible]

No. _____

支 出 伝 票													
氏 名	猪川 護	印	 										
支出年月日	令和6年 5月 20日 ~ 5月 21日												
支出科目	調査研究費、												
金 額	48,449円												
内 容	令和6年5月20日～5月21日 島根県雲南市、飯南町、雲南市への行政視察に係る経費 旅費はタクシー代173,000円÷5人の計算で、1人当たり34,600円。 宿泊費は1人1室11,950円。 手土産は（霧の森大福7箱）9,495円÷5人の計算で、1人当たり1,899円。												
経費算出表 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>34,600円</td> </tr> <tr> <td>視察料</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td>11,950円</td> </tr> <tr> <td>手土産</td> <td>1,899円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>48,449円</td> </tr> </tbody> </table> ※複数の支出項目がある場合に記載				旅費	34,600円	視察料	0円	宿泊料	11,950円	手土産	1,899円	合 計	48,449円
旅費	34,600円												
視察料	0円												
宿泊料	11,950円												
手土産	1,899円												
合 計	48,449円												
備 考													

領収書等は裏面に貼付すること

領収証

一新会

様

No.

金額

¥173000

但

タクシー代として

2024年5月21日 上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額 ¥157,273

消費税額(10%) ¥15,727

税抜金額

消費税額(%)

〒799-0121 愛媛県西条市上分町344

有限会社

代表取締役

TEL 0896-

登録番号 T950

登録番号

69096023

霧の森
The woods are divided by mist

領収書

Cash receipt

一新会

様

¥9495-

但し 手土産として

上記の金額正に領収致しました。

R6年5月19日

霧の森

〒799-0101

霧の森

〒790-0002

び社株

新宮町馬立

tel 0896-72-3111

fax 0896-72-3112

〒790-0002

道3-3-1

tel 089-934-5567

fax 089-934-5567

no.

手土産 7個

雲南市 様 2個

辻野潤様 はいり飯南町の3名 3個

出雲市 様 2個

ご請求明細書
STATEMENT

ドーミーイン出雲

Dormy Inn Izumo

〒693-008 島根県出雲市駅南町1丁目3-3
1-3-3, Eki Minamimachi, Izumo-shi, Shimane-ken
TEL:0853-21-5489 FAX:0853-24-8017
登録番号:T1010001014427

お名前 一新会 様

お部屋番号 80020 ご人数 5
ご到着 2024/05/20 ご出発 2024/05/21

日付	ご明細	部屋番号	料金	お支払等	備考	1
05/20	◇ご宿泊代	from205	11,800			
	◇ご宿泊代	from207	11,800			
	◇ご宿泊代	from209	11,800			
	◇ご宿泊代	from212	11,800			
	◇ご宿泊代	from214	11,800			
	■入湯税	from205	150		*	
	■入湯税	from207	150		*	
	■入湯税	from209	150		*	
	■入湯税	from212	150		*	
	■入湯税	from214	150		*	

ご請求金額

59,750

10%対象

59,000

(消費税

5,363)

◇ この請求書を仕入税額控除の確証としてご利用いただけます

消費税課税対象外

750

■ 消費税課税対象外

◎ その他

発行番号

052014100606 P 1 13 14 A GA AL
24/05/20 21:37 0340994

ご署名

一新会

領収書

お名前 一新会

様

2024/05/20 052014100606

金額

¥59,750-

但し

上記明細通り

上記金額正に領収致しました。

印紙税申告納
付につき神田
税務署承認済

株式会社 共立

〒101-8621 東京都千代田区外神田2丁目18番8号

(視察 ・ 要請陳情 ・ 広報広聴 ・ 研修)
実 績 報 告 書

[illegible]

行政調査報告書

1

一 新 会										氏 名	猪 川 護				
今 回 は 、 ① 移 住 ・ 定 住 の 取 り 組 み 、 ② 新 規 就 農 の 取 り 組 み 、 ③ 不 登 校 対 策 の 3 つ の テ ー マ に つ い て 雲 南 市 、 出 雲 市 に 視 察 を 行 い ま し た 。															
① 移 住 ・ 定 住 の 取 り 組 み に つ い て は 雲 南 市 政 策 企 画 部 う ん な ん 暮 ら し 推 進 課 で 、 定 住 支 援 ス タ ッ プ の 配 置 と 、 空 き 家 バ ン ク 制 度 の 活 用 に つ い て 学 ん だ 。															
雲 南 市 は 、 宝 島 社 が 発 行 す る 「 田 舎 暮 ら し の 本 」 に 掲 載 の 特 集 「 住 み た い 田 舎 」 ベ ス ト ラ ン キ ン グ に お い て 、 人 口 3 万 人 以 上 5 万 人 未 満 の 市 部 門 の 「 若 者 世 代 ・ 単 身 者 」 で 全 国 第 1 位 に 選 ば れ て い る 。 部 門 別 で は 3 年 連 続 の 全 国 第 1 位 と な っ て い る 。															
近 年 、 人 口 動 態 が 改 善 傾 向 に あ り 、 令 和 4 年 ・ 5 年 は 20 代 、 30 代 の 転 入 が 増 加 し て い る 。															
そ の 結 果 の 一 因 と な っ て い る の が 、 定 住 支 援 ス タ ッ プ (定 住 企 画 員 2 名 と 定 住 推 進 員 1 名) の 配 置 で あ る 。															



行政調査報告書

2

定	住	支	援	ス	タ	ッ	フ	は	人	材	を	呼	込	む	企	画	と	情
報	発	信	、	移	住	・	定	住	の	相	談	、	定	住	後	の	生	活
ポ	ー	ト	、	空	き	家	バ	ン	ク	の	運	営	等	を	総	合	的	に
っ	て	お	り	、	社	交	性	の	高	い	若	手	職	員	を	抜	擢	し
い	た	。																
定	住	支	援	ス	タ	ッ	フ	の	活	動	実	績	と	し	て	は	、	平
成	28	年	度	に	定	住	人	数	126	名	だ	っ	た	の	に	対	し	て
令	和	4	年	度	は	定	住	人	数	289	名	と	大	幅	に	伸	び	て
る	。	市	内	か	ら	市	内	の	移	動	176	名	を	含	ん	で	い	る
日	々	積	極	的	な	定	住	支	援	に	力	を	入	れ	て	い	る	こ
が	伺	え	る	。														
ま	た	、	空	き	家	バ	ン	ク	の	状	況	に	つ	い	て	は	、	令
和	6	年	4	月	1	日	現	在	、	空	き	家	登	録	数	521	件	、
買	済	約	176	件	、	賃	貸	済	約	144	件	、	紹	介	可	能	数	は
51	件	と	な	っ	て	い	る	。	毎	年	約	40	件	の	登	録	が	な
れ	、	売	買	・	賃	貸	合	わ	せ	て	約	30	件	の	成	約	に	つ
が	っ	て	お	り	、	活	発	に	空	き	家	活	用	が	進	ん	で	い
現	状	が	分	か	っ	た	。	こ	れ	は	定	住	推	進	員	(	バ	ン
専	従	)	を	配	置	し	て	い	る	こ	と	に	加	え	て	、	雲	南
動	産	協	力	会	(	現	在	13	社	)	と	の	連	携	が	功	を	奏



行政調査報告書

3

て	い	る	よ	う	で	あ	っ	た	。												
	空	き	家	所	有	者	の	ニ	ー	ズ	と	し	て	は	、	相	続	後	の		
	管	理	負	担	を	減	ら	し	た	い	と	い	う	ニ	ー	ズ	が	多	い	そ	
	う	で	、	固	定	資	産	税	の	納	税	通	知	に	P	R	チ	ラ	シ	を	
	入	れ	る	等	の	工	夫	も	見	ら	れ	た	。								
	ま	た	、	U	タ	ー	ン	に	つ	な	げ	る	取	り	組	み	と	し	て	、	
	高	校	生	に	対	し	て	、	教	育	委	員	会	と	連	携	し	、	3	つ	
	の	高	校	の	生	徒	に	対	し	て	、	情	報	誌	申	し	込	み	会	を	
	行	っ	て	い	る	取	り	組	み	も	興	味	深	か	っ	た	。	2	月	末	
	か	ら	3	月	に	先	輩	大	学	生	が	話	を	す	る	機	会	を	作	り	、
	そ	の	際	に	市	が	発	行	す	る	企	業	情	報	等	が	掲	載	さ	れ	
	た	情	報	誌	を	配	布	し	、	今	後	発	送	す	る	住	所	の	登	録	
	を	し	て	も	ら	う	と	い	う	場	を	作	っ	て	い	る	。	令	和	5	
	年	度	で	も	380	人	が	登	録	し	て	お	り	、	進	学	等	で	市	外	
	へ	出	て	い	く	若	者	に	対	し	て	の	U	タ	ー	ン	対	策	に	つ	
	な	が	っ	て	い	る	と	感	じ	た	。										
	そ	の	他	、	空	き	家	片	付	け	事	業	補	助	金	(	対	象	経		
	費	の	2	分	の	1	以	内	、	上	限	5	万	円	)	や	、	子	育	て	
	世	帯	定	住	宅	地	購	入	補	助	金	(	対	象	経	費	の	10	分	の	
	1	以	内	、	上	限	100	万	円	)	、	民	間	賃	貸	住	宅	家	賃	助	成



行政調査報告書

4

事業補助金（対象経費の2分の1以内、上限
2万円/月）などの補助金、シェアオフィス、
定住情報サイトや各種SNSでの発信、定住
フェアイベントへの参加、移住体験プログラ
ムのオーダーメイド実施、UIターン者交流
会の実施、結婚支援など、多くの施策を展開
していたが、その施策の本気度に加えて、定
住支援スタッフが一生懸命サポートしてくれ
ていることが、成果につながっているのだと
実感した。
今年四国中央市は消滅可能性がある都市に
なっ て し ま い ま し た。移住、特に若者の移住
を推進しないと街の存続、また日本一の紙の
街を労働者不足によって維持できないリスク
も高まっています。雲南市は、移住に特化し
た部門を作り若い担当者を配置している。そ
のメンバーもやる気に満ち溢れておりすばら
しい。四国中央市としても、使命感を強く持
ち、専門性が高いメンバーで移住政策を進め
る専門の組織を作り上げる必要があると強く



5

実績としては、令和元年以降毎年研修生を
2人ずつ受け入れており、令和5年は5名の

行政調査報告書

6

受	け	入	れ	と	な	っ	て	い	る	。	内	訳	と	し	て	は	、	自	営	
就	農	12	名	、	雇	用	就	農	1	名	と	自	営	就	農	に	多	く	つ	
な	が	っ	て	い	た	。														
	四	国	中	央	市	で	も	、	農	業	従	事	者	の	高	齢	化	、	後	
継	者	問	題	が	あ	り	ま	す	。	土	居	エ	リ	ア	は	ブ	ラ	ン	ド	
農	作	物	も	存	在	す	る	も	の	の	、	伊	予	美	人	な	ど	の	里	
い	も	の	収	穫	は	、	重	く	高	齢	者	に	は	大	き	な	負	担	と	
な	っ	て	い	る	。	日	本	の	農	業	自	給	率	は	4	割	を	割	り	、
今	後	国	レ	ベ	ル	の	問	題	と	な	っ	て	く	中	、	今	地	元	農	
業	を	な	ん	と	か	守	る	対	策	が	必	要	で	す	。	雲	南	市	が	
行	っ	て	い	る	こ	と	を	早	急	に	、	着	実	に	横	展	開	を	行	
わ	な	い	と	い	け	な	い	と	お	も	い	ま	し	た	。					
	新	規	就	農	に	つ	い	て	は	、	実	際	に	新	規	就	農	し	て	
働	い	て	い	る	方	々	の	声	も	聞	き	た	い	と	い	う	こ	と	で	、
雲	南	市	の	隣	に	あ	る	、	飯	南	町	に	お	伺	い	し	た	。		
	飯	南	町	も	新	規	就	農	に	つ	い	て	、	充	実	し	た	取	り	
組	み	を	さ	れ	て	お	り	、	今	回	は	大	阪	府	か	ら	移	住	し	
て	生	姜	等	の	営	農	資	格	者	で	あ	る	辻	野	さ	ん	、	兵	庫	
県	か	ら	移	住	し	て	中	野	あ	お	ぞ	ら	農	園	の	農	園	長	を	



行政調査報告書

7

さ	れ	て	い	る	中	野	さ	ん	、	和	歌	山	県	か	ら	移	住	し	て
中	野	あ	お	ぞ	ら	農	園	で	営	農	実	習	生	を	し	て	い	る	田
淵	さ	ん	に	現	地	を	見	せ	て	い	た	だ	き	、	話	を	聞	い	た
50	代	の	辻	野	さ	ん	は	、	前	職	で	飯	南	町	に	来	る	機	
会	が	何	度	か	あ	り	、	知	人	の	勧	め	で	就	農	を	行	う	こ
と	と	な	っ	た	。	今	で	は	中	野	さ	ん	、	田	淵	さ	ん	含	め
多	く	の	就	農	仲	間	の	リ	ー	ダ	ー	に	な	っ	て	い	る	様	子
で	あ	っ	た	。															
40	代	の	中	野	さ	ん	は	会	社	の	都	合	に	縛	ら	れ	る	都	
会	で	の	サ	ラ	リ	ー	マ	ン	生	活	を	続	け	る	こ	と	に	疑	問
を	感	じ	て	い	る	頃	、	「	い	っ	か	は	田	舎	で	自	給	自	足
の	生	活	を	し	た	い	」	と	言	っ	て	い	た	妻	・	晴	美	さ	ん
の	言	葉	か	ら	移	住	候	補	地	選	び	を	行	っ	た	。	イ	ン	タ
ー	ネ	ッ	ト	で	探	し	て	目	に	留	ま	っ	た	の	が	飯	南	町	。
空	き	家	を	活	用	し	た	定	住	促	進	住	宅	が	整	備	さ	れ	、
農	林	業	に	就	い	て	定	住	を	目	指	す	人	へ	の	研	修	・	支
援	な	ど	も	手	厚	か	っ	た	。	何	度	も	足	を	運	ぶ	う	ち	に
田	舎	ら	し	い	環	境	と	市	職	員	の	熱	意	が	後	押	し	と	な
り	、	夫	婦	で	I	タ	ー	ン	就	農	を	決	め	た	と	の	こ	と	。
30	代	の	田	淵	さ	ん	は	、	美	容	師	と	し	て	働	い	て	い	



行政調査報告書

8

た	が	、	ず	っ	と	農	業	に	興	味	を	持	っ	て	お	り	、	一	念
発	起	で	就	農	の	研	修	制	度	が	手	厚	い	飯	南	町	に	来	た
田	淵	さ	ん	の	和	歌	山	の	実	家	は	稲	作	の	農	家	だ	が	、
稲	作	で	は	な	い	作	物	を	や	り	た	い	と	い	う	想	い	で	た
ど	り	着	い	た	の	が	飯	南	町	だ	っ	た	。	来	年	か	ら	は	研
修	期	間	が	終	わ	り	、	パ	プ	リ	カ	生	産	者	と	し	て	活	動
し	て	い	く	予	定	で	あ	る	。										
こ	の	よ	う	に	、	地	理	的	に	有	利	と	は	い	え	な	い	飯	
南	町	で	あ	っ	て	も	、	研	修	制	度	や	定	住	支	援	を	充	実
さ	せ	、	イ	ン	タ	ー	ネ	ッ	ト	等	で	PR	す	る	こ	と	で	、	都
会	か	ら	就	農	希	望	者	が	来	て	い	る	と	い	う	こ	と	が	分
か	っ	た	。																
四	国	中	央	市	に	お	い	て	も	、	若	い	農	家	が	中	心	と	な
っ	た	チ	ー	ム	を	作	る	こ	と	が	必	要	、	そ	の	チ	ー	ム	が
実	績	を	残	す	こ	と	が	フ	ッ	ク	に	な	り	、	就	農	希	望	者
が	四	国	中	央	市	に	移	住	し	て	く	れ	る	こ	と	に	繋	が	る
と	思	い	ま	す	。	儲	か	る	農	業	を	チ	ー	ム	と	し	て	作	り
上	げ	る	。	ブ	ラ	ン	ド	化	す	る	こ	と	を	テ	ー	マ	に	推	し
進	め	な	い	と	い	け	な	い	と	思	い	ま	し	た	。				



行政調査報告書

9

③	不	登	校	対	策	に	つ	い	て	は	、	出	雲	市	教	育	委	員	
会	児	童	生	徒	支	援	課	で	、	不	登	校	対	策	指	針	に	つ	い
て	学	ん	だ	。															
出	雲	市	で	は	小	学	校	34	校	（	分	校	含	む	）	9663	人	、	
中	学	校	15	校	（	分	校	含	む	）	4786	人	が	い	る	が	、	不	
登	校	児	童	生	徒	数	は	、	小	学	校	220	人	（	2.3	%	）	、	中
学	生	372	人	（	7.8	%	）	と	高	い	水	準	と	な	っ	て	い	た	。
国	・	県	・	市	の	調	査	デ	ー	タ	を	分	析	し	、	不	登	校	
対	策	指	針	を	策	定	し	て	い	る	こ	と	自	体	も	進	ん	で	い
る	こ	と	だ	と	思	う	が	、	真	似	し	た	い	と	思	う	取	り	組
み	が	3	つ	あ	っ	た	の	で	、	こ	こ	に	記	載	す	る	。		
1	つ	目	は	、	全	学	校	で	だ	ん	だ	ん	タ	イ	ム	と	い	う	
時	間	を	取	っ	て	い	る	こ	と	。	週	に	1	回	10	分	間	の	
「	短	時	間	グ	ル	ー	プ	ア	プ	ロ	ー	チ	」	を	行	い	、	よ	り
よ	い	人	間	関	係	づ	く	り	、	対	話	力	の	育	成	に	尽	力	し
て	い	た	。																
2	つ	目	は	小	学	校	高	学	年	の	教	科	担	任	制	の	拡	充	。
中	学	校	の	よ	う	に	、	国	語	は	●	●	先	生	、	社	会	は	○
○	先	生	と	別	に	す	る	こ	と	で	、	授	業	の	質	向	上	に	つ
な	が	る	と	い	う	効	果	は	も	ち	ろ	ん	の	こ	と	、	中	学	校



行政調査報告書

10

の	方	法	に	慣	れ	る	こ	と	で	、	中	一	ギ	ャ	ッ	プ	の	軽	減
や	様	々	な	先	生	と	関	わ	れ	る	こ	と	で	、	相	談	で	き	る
相	手	を	増	や	す	効	果	が	あ	る	と	の	こ	と	だ	っ	た	。	
3	つ	目	は	、	ほ	っ	と	ル	ー	ム	と	い	う	、	校	内	で	落	
ち	着	い	て	過	ご	す	こ	と	の	で	き	る	専	用	の	部	屋	を	用
意	し	て	い	る	こ	と	で	あ	る	。	小	学	校	は	12	校	、	中	学
校	は	全	15	校	に	設	置	し	て	い	る	そ	う	で	、	市	独	自	の
予	算	で	不	登	校	相	談	員	を	配	置	し	て	い	る	。	(	小	学
校	に	つ	い	て	は	半	分	県	負	担	)								
四	国	中	央	市	で	は	、	県	の	事	業	と	し	て	川	之	江	北	
中	学	校	で	サ	ポ	ー	ト	ル	ー	ム	が	導	入	さ	れ	て	い	る	が、
県	の	動	き	を	待	つ	の	で	は	な	く	、	市	単	独	で	行	っ	て
い	る	こ	と	が	素	晴	ら	し	い	と	感	じ	た	。					
不	登	校	生	徒	を	削	減	す	る	た	め	に	は	、	教	師	の	存	
在	が	大	き	く	、	教	師	が	し	っ	か	り	と	子	供	達	と	向	き
合	う	時	間	を	確	保	す	る	こ	と	、	教	師	が	元	気	で	あ	る
こ	と	が	大	事	だ	と	思	い	ま	し	た	。	教	師	の	仕	事	量	が
多	く	、	残	業	、	残	業	で	処	理	を	し	て	い	る	環	境	を	ど
う	フ	ォ	ロ	ー	体	制	を	作	り	上	げ	る	か	、	不	登	校	生	徒
に	な	る	前	に	、	し	っ	か	り	予	防	対	策	を	施	す	こ	と	が



行政調査報告書

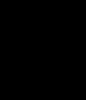
11

大事だと思いました。出雲市の市民の一番の
関心が教育にあります。四国中央市ももっと、
もっと教育に関心をもってもらえるように、
仕掛け、力をいれていかなければならにと思
いました。

今回の研修では、実践的な学びがありまし
た。研修を学びの場として終わらすのではな
く、行政と連動しながら、対策まで落とし込
む必要があります。今回学んだことを関係メ
ンバーと共有して、スピード対応していき
たいと思います。



No. _____

支 出 伝 票			
氏 名	猪川護	印	 
支出年月日	令和6年 7月 18日 ~ 7月 19日		
支出科目	調査研究費		
金 額	31,554円		
内 容	令和6年7月18日～7月19日 松山市への行政視察に係る経費 旅費はタクシー代94,780円÷5人の計算で、1人当たり18,956円。 宿泊費は1人1室11,550円。 手土産は（いわくら太鼓2箱、ひうち焼2箱）5,240円÷5人の計算で、1人当たり1,048円。		
経費算出表			
旅費		18,956円	
視察料		0円	
宿泊料		11,550円	
手土産		1,048円	
合 計		31,554円	
※複数の支出項目がある場合に記載			
備 考			

領収書等は裏面に貼付すること

領収証

一新会

様

No.

金額

¥94780-

但

2024年7月19日

上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額 ¥86164

消費税額(10%) ¥8616

税抜金額

消費税額(%)

〒799-0121 愛媛県四国中央市北分町34-1

有限会社

代表取締役

TEL 0896

登録番号 T950000202339

登録番号

6R096923

お名前

一新会

領収書

様

2024/07/18 071803104310

金額

¥57,750-

但し

ご宿泊代として

上記金額正に領収致しました。

印紙税申告納
付につき神田
税務署承認済

24.7.18

株式会社 共立メンテナンス

〒101-8621 東京都千代田区外神田2丁目18番8号

領収証

様

¥5,240-

但し、食料品及びその他商品代金として
うち、外税 8%対象額 4,852円 外税額 388円
上記正に領収いたしました 売上レシートNo:9612

株式会社フジ フジ四国中央店
TEL : 0896 - 49 - 1011

※財布等に入れ保管頂く場合、印刷面を内側に折り返し保管してください。登録番号

株式会社フジ

T9500001003505

No.0201-0921-9612
2024年07月18日
[担当:鈴木]

出納

手土産 4個 (いかり太鼓2個 ひらり焼2個)

愛媛県教育委員会事務局 指導部 高校教育課様 2個

株式会社ISEKI M&D様 2個

[illegible]

行政調査報告書

1

一	新	会								氏	名	猪	川	護							
今	回	の	視	察	で	は	、	①	県	立	高	校	の	再	編	に	つ	い			
て	、	②	農	業	の	歴	史	と	未	来	に	つ	い	て	の	2	つ	の	テ		
ー	マ	に	つ	い	て	学	ん	だ	。												
①	県	立	高	校	の	再	編	に	つ	い	て	は	、	愛	媛	県	教	育			
委	員	会	事	務	局		指	導	部		高	校	教	育	課	に	お	伺	い		
し	、	県	立	高	校	の	再	編	計	画	や	、	松	山	南	高	校	砥	部		
分	校	の	存	続	の	経	緯	、	四	国	中	央	市	の	高	校	再	編	に		
つ	い	て	の	考	え	を	聞	く	こ	と	が	で	き	た	。						
県	が	出	し	て	い	る	再	編	整	備	基	準	に	よ	る	と	、	川			
之	江	高	校	、	三	島	高	校	、	土	居	高	校	の	3	校	に	つ	い		
て	は	3	学	級	以	上	の	学	校	に	あ	た	り	、	3	校	と	も	に		
「	入	学	生	が	80	人	以	下	の	状	況	が	3	年	続	き	、	そ	の		
後	も	増	え	る	見	込	み	が	な	い	場	合	は	、	募	集	停	止	を		
行	う	。	た	だ	し	、	魅	力	化	推	進	校	と	し	て	認	定	す	る		
場	合	は	除	く	。」	と	あ	る	。												
令	和	6	年	度	の	合	格	者	は	川	之	江	高	校	174	名	(	200			
名	定	員	)	、	三	島	高	校	普	通	科	215	名	(	240	名	定	員	)	、	三
島	高	校	商	業	科	36	名	(	40	名	定	員	)	、	土	居	高	校	普	通	
科	68	名	(	120	名	定	員	)	と	な	っ	て	お	り	、	現	状	で	は	、	



四国中央市議会

20×20

行政調査報告書

2

土	居	高	校	が	再	編	基	準	の	1	年	目	に	該	当	し	て	し	ま
っ	て	い	る	。															
	こ	の	ま	ま	令	和	7	年	度	、	令	和	8	年	度	と	入	学	者
80	人	以	下	が	続	く	と	、	募	集	停	止	と	な	る	危	機	の	真
っ	た	だ	中	に	あ	る	。												
	し	か	し	、	市	町	や	地	域	か	ら	学	校	の	存	続	の	た	め
に	必	要	と	思	わ	れ	る	支	援	が	得	ら	れ	る	県	立	高	校	等
を	、	1	市	町	に	つ	き	1	校	に	限	り	、	特	別	の	統	廃	合
基	準	(	入	学	者	が	30	人	以	下	の	状	況	が	3	年	続	き	、
そ	の	後	も	増	え	る	見	込	み	が	な	い	場	合	は	、	募	集	停
止	)	を	適	用	す	る	「	魅	力	化	推	進	校	」	に	認	定	で	き
る	。																		
	単	純	に	考	え	れ	ば	、	地	域	の	方	た	ち	が	存	続	を	願
う	、	土	居	高	校	を	魅	力	化	推	進	校	に	認	定	し	て	い	た
だ	け	る	よ	う	に	、	「	市	町	や	地	域	か	ら	学	校	の	存	続
の	た	め	に	必	要	と	思	わ	れ	る	支	援	」	を	行	い	、	認	定
に	向	け	て	動	い	て	い	く	の	が	よ	い	と	思	え	る	。		
	し	か	し	、	市	議	会	議	員	と	し	て	は	、	も	う	少	し	未
来	志	向	で	考	え	て	い	か	な	い	と	い	け	な	い	。			
	令	和	6	年	度	の	四	国	中	央	市	内	の	中	学	3	年	生	の



行政調査報告書

3

生	徒	数	は	706	人	で	あ	る	が	、	急	速	な	少	子	化	で	、	令
和	5	年	度	の	新	生	児	は	409	人	。	令	和	元	年	～	令	和	3
年	の	卒	業	生	の	進	路	は	69	%	が	市	内	の	県	立	高	校	と
な	っ	て	お	り	、	そ	の	比	率	は	年	々	低	く	な	っ	て	き	て
い	る	。																	
	15	年	後	を	考	え	た	と	き	に	は	、	中	学	校	で	市	外	進
学	す	る	な	ど	の	要	因	で	、	中	学	3	年	生	の	生	徒	数	は
約	400	名	、	そ	の	60	%	が	市	内	の	県	立	高	校	に	進	学	す
る	と	推	測	す	る	と	、	約	240	名	(	6	ク	ラ	ス	)	と	い	う
数	字	が	出	て	く	る	。												
	そ	の	頃	を	想	定	し	た	と	き	に	、	市	内	に	3	校	を	残
し	て	お	く	こ	と	が	正	し	い	決	断	と	は	な	ら	な	い	。	
	三	島	高	校	、	川	之	江	高	校	に	し	て	も	、	普	通	科	中
心	で	進	学	実	績	も	下	降	気	味	で	あ	る	中	、	学	校	長	権
限	で	行	う	こ	と	が	で	き	る	、	「	コ	ー	ス	」	等	の	新	設
だ	け	で	は	市	内	の	生	徒	に	選	ば	れ	る	高	校	に	な	る	の
が	難	し	い	と	考	え	る	。	愛	媛	県	教	育	委	員	会	の	承	認
が	必	要	な	「	科	」	の	新	設	や	キ	ャ	リ	ア	教	育	の	積	極
的	導	入	等	、	産	業	界	や	中	学	生	の	ニ	ー	ズ	に	沿	っ	た
学	校	づ	く	り	へ	の	改	革	が	必	要	。							



行政調査報告書

4

ひ	と	つ	の	案	と	し	て	、	大	胆	に	市	内	1	校	に	し	て	、	
選	抜	以	上	に	進	学	に	特	化	し	た	特	進	ク	ラ	ス	や	就	職	に
に	特	化	し	た	工	業	科	を	配	置	し	た	り	、	校	則	の	大	幅	で
見	直	し	を	し	た	り	す	る	な	ど	し	て	、	一	気	に	魅	力	的	な
な	高	校	づ	く	り	着	手	す	る	と	い	う	手	も	あ	る	と	考	え	る
る	。																			
八	幡	浜	市	は	、	県	か	ら	高	校	再	編	計	画	が	提	示	さ	れ	
る	前	に	、	市	内	の	3	校	を	統	合	し	て	ほ	し	い	と	提	案	
を	投	げ	か	け	て	い	ま	す	。	そ	れ	は	適	正	規	模	の	高	校	
に	す	る	こ	と	で	、	対	策	の	パ	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	を	増	や	
せ	す	こ	と	、	学	生	フ	ァ	ー	ス	ト	が	目	的	で	し	た	。		
現	在	地	元	中	学	校	を	卒	業	し	て	他	市	の	高	校	に			
40	%	近	く	が	進	学	し	て	い	る	の	は	、	①	優	秀	な	大	学	
に	進	学	し	た	い	、	②	デ	ジ	タ	ル	ス	キ	ル	を	更	に	磨	き	
た	い	と	い	う	理	由	が	大	き	い	。	3	つ	の	高	校	を	統	合	
し	て	規	模	拡	大	を	図	る	こ	と	で	対	策	を	取	り	や	す	く	
な	る	。	科	や	コ	ー	ス	を	作	る	ハ	ー	ド	ル	も	下	が	つ	て	
く	る	と	思	わ	れ	る	。	地	元	の	高	校	に	進	学	す	る	こ	と	
は	、	シ	ビ	ッ	ク	プ	ラ	イ	ド	も	醸	成	さ	れ	、	消	滅	可	能	
性	都	市	を	回	避	す	る	こ	と	に	も	繋	が	る	と	思	わ	れ	る	



行政調査報告書

5

一	方	、	今	回	の	愛	媛	県	県	立	学	校	振	興	計	画	の	中	
で	、	松	山	南	高	校	砥	部	分	校	が	存	続	す	る	こ	と	に	な
っ	た	が	、	「	砥	部	分	校	存	続	の	会	」	等	か	ら	、	砥	部
分	校	存	続	案	が	提	出	さ	れ	た	こ	と	が	転	換	期	と	な	っ
た	そ	う	で	あ	る	。													
こ	の	存	続	案	で	は	、	計	画	案	の	策	定	過	程	で	想	定	
し	得	な	か	っ	た	砥	部	町	か	ら	の	支	援	や	民	間	企	業	と
の	連	携	な	ど	、	砥	部	分	校	の	存	続	に	向	け	た	具	体	的
方	策	が	明	確	に	示	さ	れ	、	町	と	企	業	か	ら	も	そ	の	存
続	案	へ	の	協	力	が	示	さ	れ	た	。								
例	え	ば	、	砥	部	町	は	「	遠	距	離	で	通	学	で	き	な	い	
生	徒	の	た	め	の	家	賃	補	助	」	「	全	国	か	ら	生	徒	を	募
集	す	る	た	め	の	活	動	費	補	助	」	で	支	援	を	、	存	続	の
会	な	ど	地	域	住	民	は	「	親	元	を	離	れ	て	暮	ら	す	生	徒
へ	の	生	活	見	守	り	」	で	支	援	を	、	広	告	デ	ザ	イ	ン	企
業	は	「	校	内	へ	の	サ	テ	ラ	イ	ト	オ	フ	ィ	ス	開	設	」	と
「	ゲ	ー	ム	ク	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	コ	ー	ス	に	お	け	る	専	門
技	術	指	導	」	等	の	支	援	が	示	さ	れ	て	い	る	。			
そ	う	い	っ	た	「	実	現	可	能	で	、	子	ど	も	達	に	と	っ	
て	有	益	と	な	る	具	体	的	方	策	案	」	を	提	示	で	き	た	こ



行政調査報告書

6

と	が	、	存	続	に	つ	な	が	っ	た	と	の	こ	と	で	あ	る	。				
			存	続	が	決	ま	っ	た	今	、	砥	部	町	は	全	国	か	ら	の	生	
			徒	募	集	の	為	、	建	設	費	8	億	円	の	寮	の	建	設	を	計	画
			し	、	さ	ら	に	魅	力	的	な	高	校	づ	く	り	に	邁	進	し	て	い
			る	。																		
			四	国	中	央	市	で	も	、	3	校	を	存	続	さ	せ	る	の	で	あ	
			れ	ば	、	「	実	現	可	能	で	、	子	ど	も	達	に	と	っ	て	有	益
			と	な	る	具	体	的	方	策	案	」	を	提	示	で	き	る	よ	う	に	準
			備	を	し	な	け	れ	ば	な	ら	な	い	。	2	校	や	1	校	に	再	編
			し	て	い	く	に	し	て	も	、	い	か	に	魅	力	的	な	高	校	づ	く
			り	を	行	っ	て	い	く	か	は	考	え	て	い	か	な	け	れ	ば	な	ら
			な	い	。																	
			い	ず	れ	に	せ	よ	、	愛	媛	県	県	立	学	校	振	興	計	画	の	
			後	期	計	画	に	着	手	し	始	め	る	令	和	8	年	度	に	は	地	域
			協	議	会	等	が	行	わ	れ	、	地	域	の	声	を	聴	く	機	会	を	作
			る	そ	う	で	あ	る	。	そ	の	頃	に	は	、	首	長	の	決	断	が	重
			要	な	も	の	と	な	る	こ	と	は	間	違	い	な	い	。	次	の	市	長
			選	挙	は	そ	う	い	っ	た	意	味	で	も	大	変	重	要	な	機	会	に
			な	る	と	感	じ	た	。													



行政調査報告書

7

②	農	業	の	歴	史	と	未	来	に	つ	い	て	は	、	株	式	会	社	
ISEKI	M	&	D	に	お	伺	い	し	、	プ	レ	ゼ	ン	テ	ー	シ	ョ	ン	
と	工	場	見	学	、	ギ	ャ	ラ	リ	ー	見	学	を	行	う	こ	と	が	で
き	た	。																	
プ	レ	ゼ	ン	テ	ー	シ	ョ	ン	で	は	、	1926	年	(	大	正	15		
年	)	8	月	、	「	井	関	農	具	商	会	」	が	創	設	さ	れ	、	そ
の	第	一	号	と	し	て	、	全	自	動	粃	す	り	機	を	生	産	し	た
こ	と	か	ら	始	ま	り	、	現	在	は	35	%	が	海	外	売	上	と	い
う	比	率	ま	で	向	上	し	て	い	る	こ	と	に	つ	い	て	教	え	て
い	た	だ	い	た	。														
工	場	見	学	で	は	、	農	業	機	械	(	ト	ラ	ク	タ	、	コ	ン	
パ	イ	ン	、	田	植	機	)	の	エ	ン	ジ	ン	ブ	ロ	ッ	ク	(	本	
体	)	を	効	率	よ	く	生	産	す	る	た	め	、	横	型	マ	シ	ニ	ン
グ	セ	ン	タ	ー	11	台	と	ロ	ボ	ッ	ト	4	台	を	連	結	さ	せ	た
ラ	イ	ン	を	構	築	し	て	お	り	、	最	新	設	備	を	生	産	性	高
く	活	用	し	て	い	る	様	子	を	見	る	こ	と	が	で	き	た	。	
ま	た	、	ト	ヨ	タ	の	か	ん	ば	ん	方	式	を	採	用	し	て	お	
り	、	1	本	の	ラ	イ	ン	で	全	く	異	な	る	機	種	が	同	時	に
組	立	て	ら	れ	る	混	合	生	産	の	組	立	ラ	イ	ン	は	興	味	を
引	く	も	の	で	あ	っ	た	。											

行政調査報告書

8

かん	ばん	方	式	と	は	、	生	産	現	場	で	連	続	す	る	工
程	間	の	仕	掛	在	庫	を	最	少	に	す	る	た	め	の	仕
組	み	で	、													
ト	ヨ	タ	生	産	シ	ス	テ	ム	で	ジ	ャ	ス	ト	・	イ	ン
・	タ	イ														
ム	を	実	現	す	る	た	め	に	開	発	さ	れ	た	手	法	の
1	つ	。														
前	工	程	は	かん	ばん	(	生	産	指	示	標	)	を	発	注	書
と	し	て	受	け	取	り	、	製	品	を	加	工	す	る	。	加
工	後	、														
加	工	品	は	かん	ばん	と	と	も	に	後	工	程	に	渡	さ	れ
る																
と	い	う	方	式	で	あ	る	。								
最	後	に	、	ギ	ャ	ラ	リ	ー	も	見	学	さ	せ	て	た	だ
い	た															
そ	こ	で	は	、	子	ど	も	達	に	も	農	業	や	農	業	機
械	、	井														
関	農	機	の	歴	史	が	伝	わ	る	工	夫	が	見	ら	れ	た
。																
最	新	製	品	に	つ	い	て	も	展	示	さ	れ	、	映	像	で
紹	介															
さ	れ	て	い	た	が	、	ほ	と	ん	ど	の	部	分	を	自	動
化	、	省														
力	化	さ	れ	、	さ	ら	に	タ	ブ	レ	ッ	ト	を	使	っ	た
作	業	管														
理	サ	ポ	ー	ト	や	機	械	管	理	サ	ポ	ー	ト	を	行	え
る	よ	う														
に	進	化	し	て	い	る	こ	と	が	理	解	で	き	た	。	
そ	し	て	、	ISEKI	ド	リ	ー	ム	パ	イ	ロ	ッ	ト	シ	リ	ー
ズ																
の	製	品	で	は	、	GNSS(	全	球	測	位	衛	星	シ	ス	テ	ム
)	を															
活	用	し	た	自	動	操	舵	技	術	に	よ	り	、	オ	ペ	レ
ー	タ	が														
監	視	・	遠	隔	操	作	す	る	こ	と	で	、	安	全	性	を
確	保	し														



行政調査報告書

9

な	が	ら	ト	ラ	ク	タ	に	よ	る	無	人	作	業	が	可	能	に	な	っ	
て	い	た	。																	
	未	来	の	技	術	だ	と	思	っ	て	い	た	こ	と	が	、	実	現	で	
き	て	い	る	こ	と	に	驚	き	を	隠	せ	な	か	っ	た	。	こ	う	い	
っ	た	最	新	技	術	が	高	齢	化	や	少	人	数	化	、	大	規	模	化	
の	中	で	の	農	業	を	支	え	て	い	く	こ	と	が	イ	メ	ー	ジ	で	
き	、	大	変	勉	強	に	な	っ	た	。	現	在	農	業	従	事	者	は	高	
年	齢	化	に	な	っ	て	お	り	、	近	い	将	来	労	働	力	不	足	に	
よ	っ	て	日	本	の	食	が	大	き	な	危	機	を	迎	え	る	と	思	い	
ま	す	。	そ	の	た	め	に	、	ス	マ	ー	ト	農	業	、	人	と	機	械	
と	の	融	合	を	踏	ま	え	、	四	国	中	央	市	の	農	業	の	在	り	
方	に	つ	い	て	し	っ	か	り	と	し	た	戦	略	を	打	ち	出	さ	な	
く	て	は	な	ら	な	い	と	思	い	ま	し	た	。							
	こ	こ	ま	で	、	2	つ	の	内	容	に	沿	っ	て	視	察	の	報	告	
を	記	入	し	た	が	、	ど	ち	ら	の	内	容	の	濃	い	視	察	と	な	
っ	た	。	教	育	、	農	業	と	も	未	来	志	向	で	今	何	を	や	っ	
て	お	く	べ	き	か	を	考	え	、	戦	略	に	落	し	込	む	必	要	が	
あ	り	ま	す	。	ス	ピ	ー	ド	を	も	っ	て	行	政	メ	ン	バ	ー	と	
一	緒	に	な	っ	て	戦	略	に	落	し	込	み	た	い	と	思	い	ま	す	。



四国中央市議会

20×20